

# 農業委員会だより

\*\*\* 育てよう、農業後継者!! \*\*\*

〈編集・発行〉

瑞穂町農業委員会

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335

☎ 042-557-7630 (直)



平成 27 年 11 月 14 日 (土)、15 日 (日) に行われた  
第 4 5 回産業まつりでの農業委員会活動の様子



あけましておめでとうございます。昨年は農業委員会の制度改正、TPPの進展など大きな動きがありました。町の農業も高齢化と後継者不足で年々厳しい状況が続いています。

しかし、町では昨年、農業経営基盤強化促進法の利用権設定により四町三反の遊休農地が新規就農者や農家、法人に活用されました。

野菜、花き、酪農の若手農業者にも、将来を見据えた新たな動きが見られるのは頼もしく、うれしい限りです。私ども、農業委員会では瑞穂の農地を活かし、農家が豊かになり、老・壮・青の経験・情熱・夢が農業を発展させるよう、今年も努力をいたします。皆様のご健康をお祈りし、ご指導、ご鞭撻をお願い致します。

会長 上野 勝



# 第41回農畜産物共進会受賞者

区 分	品 目	受 賞 者
東京都知事賞・西多摩農業協同組合長賞	里 芋	高水 永夫
東京都知事賞・西多摩農業協同組合長賞	シクラメン	栗原 吉徳
東京都産業労働局長賞・西多摩地方農業委員会連合会会長賞	ブロッコリー	丹生 範仁
東京都農業振興事務所長賞・東京都農業共済組合長賞	白菜	原 輝寿
瑞穂町長賞	茶	森田 常彦
瑞穂町産業まつり実行委員会委員長賞	キャベツ	鳥海 幸治
瑞穂町議会議長賞	キウイフルーツ	高水 幸代
瑞穂町農業委員会会長賞	ねぎ	吉岡 勝雄
東京都農業改良普及事業協議会会長賞	みかん	細 渕 浩昌
西多摩農業改良普及事業協議会会長賞	トマト	青木 一幸
東京都農業協同組合中央会会長賞	馬鈴薯	関谷 政興
東京都信用農業協同組合連合会会長賞	柿	久保田 晴利
全国農業協同組合連合会東京都本部長賞	人参	丹生 範仁
全国共済農業協同組合連合会東京都本部長賞	ゆず	井上 育男
東京都農業信用基金協会会長賞	ハツ頭	町田 敏雄

## 農地の適正管理をお願いします

遊休農地の解消、違反転用の防止等のため、6月から8月を強化月間として農業委員が地域を巡回し、農地の状況を調査します。調査の際には農地の中に立ち入ることもありますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。農地の手入れをされないと近隣の農地や地域住民の方へ多大な迷惑がかかりますので、農地が荒れないよう所有者、耕作者の方は適正管理をお願いします。



## ☆農業委員会法が改正されます☆

農業委員会が農地利用の最適化をより推進していくために、農業委員会法の改正が行われ、平成28年4月1日から施行されます。その中でも特に重要なポイントをご紹介します。なお、現在の瑞穂町の農業委員の任期は平成29年7月19日となっているため、任期満了後、新体制へ移行予定です。

### 農業委員会法改正のポイント

①農地利用最適化推進委員の新設	農業委員と連携し、担い手への農地利用集積・集約化・耕作放棄地発生防止・解消といった現場作業を行う。
②選出方法の変更	(1)農業委員の公選制を廃止し、区市町村長の任命制にすること。※農業委員会選挙人名簿の登載申請書については、平成28年1月から提出が不要になりました。
	(2)農業委員の過半数を認定農業者とすること。※例外あり
	(3)農業者以外の者で、中立な立場で公正な判断をすることができる者を1名以上入れること。

### 焼却看板の貸出し

農産物に対する病害虫の防除・駆除の目的で、収穫後の茎・枝・葉などを焼却する場合は、届出をしてください。看板をお貸ししますので、掲示し焼却してください。(焼却の際は、風向きや強さ、煙の周辺への影響など安全を考慮してください。)



#### 【届出先】

都市整備部 産業課 農政係  
瑞穂町役場 仮庁舎1階

### 農業委員会事務局職員の異動について

事務局職員の異動があったため、お知らせします。

- 平成27年10月1日付け人事異動
  - (旧) 田中 和義 事務局長.. 都市整備部へ
  - (新) 山内 一寿 事務局長.. 健康課より
- よろしくお願いいたします。



# 農業委員会活動

## 小麦まき&しめ縄づくり体験

農業委員会で行っている活動の一部をお知らせします。

平成27年11月21日(土)高根地区不耕作地において地元子供会・育成会と共に小麦の作付けを行いました。



みんなでしっかり持って、これから編んでいきます。

順調に育ってます。

## 旬を食す



平成27年10月21日(水)西多摩農協女性部の指導のもと住民の方と一緒に地元野菜を使用したピリ辛鍋とカブと人参のゴマ和えを作りました。



瑞穂風ピリ辛鍋  
カブと人参のゴマ和え

## 自然薯収穫

平成27年11月21日(土)高根地区不耕作地において平成27年5月に植え付けした自然薯の収穫を行いました。



立派な自然薯がたくさん収穫できました。



### 平成27年農業委員会事務処理実績

#### 農地転用関係処理件数

農地法第3条許可	4件
農地法第4条許可	1件
農地法第5条許可	1件
農地法第4条届出	11件
農地法第5条届出	52件

#### その他法令に基づく処理件数

農地法3条の3届出(相続時の届出)	12件
農業経営基盤強化促進法利用権設定	21件

#### 贈与税・相続税納税猶予関係処理件数

相続税納税猶予適格者証明	1件
相続税納税猶予継続届に関する証明	5件

# 新しい仲間を紹介します☆



## 「無理をしない農業経営を目指す！」

平成27年9月に瑞穂町で新規就農された石川 義博さん (37歳)

Q 就農したきっかけは？

A 大学の園芸学科に進学し、農業に関わることを学び、いつかは自分で育てた野菜をたくさんの人に食べてもらいたいと思った。

Q 現在の営農状況は？

A 町内の約20アールの農地を借りて野菜作りをしています。現在はカブ、ほうれん草、ブロッコリー等の野菜を栽培しています。出荷先は、大手スーパーです。

Q 新規就農してどうでしたか？大変だったことは？

A 自分で計画を立てながら作付けできることが楽しいです。大変だったことは、農機具を一から揃えなければいけなかったので初期投資が想像以上にかかったことです。

Q 将来の夢はまたは計画は？

A 耕作面積が小さいため、畑の規模を50アール位まで拡大し、施設栽培も視野に入れて無理のない農業経営を目指していきます。

取材・記事：村山 宣幸

### ★石川さんからのお願い★

使わなくなったパイプハウス等ありましたら、使わせていただきたいそうです。

使わせていただける方はお近くの農業委員または事務局までご連絡をお願いします。



## 「15年越しの夢のスタートラインに立つことができました！」

平成28年1月に瑞穂町で新規就農された桐谷明香さん (31歳)  
※写真右が桐谷さんです。

Q 就農したきっかけは？

A 中学生の時に授業で野菜を育てたことがきっかけでした。それまで農業に興味がなく、どちらかといえば読書や音楽などインドアなことが好きでしたが、実際に外で汗をかきながら土仕事をしてみるととてもやりがいがあると思って農業が好きになりました。自分たちが作った野菜を「美味しい」といってくれたことがとても嬉しくて「農業を仕事にしたいなあ」と幼いながらも思いました。東京農業大学を卒業後、ドイツに1年間農業研修に行くうちに、農家として働く姿に惹かれて、就農への思いはどんどん強くなりました。

Q 将来の夢または今後の計画は？

A 今年1月からの就農なので、これからスタートとなります。冬の間に土づくりを行い、作付計画にそって種を播いていこうと思います。一年目は、まずは瑞穂町のことを知り、とにかく地に足をつけて、背伸びする事なく畑に向き合っていきたいと思っています。未熟者なので地域のみなさまからご指導いただきながら、地域に根ざした農家になりたいです。

取材・記事：藤本 昇



## 農業委員の声

前農業委員会会長 久保田 晴利さんの圃場で、瑞穂町では27年ぶりとなる「宮中新嘗祭献穀粟御播種祭」が平成27年6月22日に厳かに執り行われました。久保田さんが管理・育成された粟は平成27年10月23日に宮中に献上されました。 記事 雨宮 敏昭



## 編集後記

地球温暖化が叫ばれて久しくなりますが、昨年9月には局地的豪雨の影響で鬼怒川の堤防に決壊があり、茨城県常総市の田園地帯等が泥水の濁流により甚大な被害を受けました。農業経営者をはじめ被災された皆様の早期復興をこころより願うものです。

さて新しい年を迎え、TPP 関連および中東情勢の緊迫、世界同時株安などによる景気への不安のある中、農業をとりまく環境に於いては、自然災害の無い一年であることを願うばかりです。

最後に、本だよりをご愛読の皆様、今後ともさらに内容の充実と情報の発信に努めますので、ご意見、ご感想等がございましたら本委員会までお寄せ下さいますようお願い申し上げます。 (池和田 貞夫)

編集委員長 池和田 貞夫  
編集委員 村山 宣幸 藤本 昇  
西村 一 雨宮 敏昭